

平成31年度 産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分 類 名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-------	-------------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学 科 概 要

専 修 学 校 名	学校法人中央工学校 中央工学校OSAKA	分 野 区 分	工業
課 程 名	工業専門課程	修 業 年 限	2年
学 科 名	住宅デザイン科	学 科 定 員 数	80名
学 科 開 設 年 月 日	平成24年4月1日	学 科 実 員 数	61名
コ ー ス 設 置 年 月 日	平成24年4月1日	推 奨 年 度	平成31年度
当該学科の教育目標	実践的技術に必要とされる、実務能力を有する技術者の養成を目標に、建築業界において必要な基本的な専門知識と技術を実践本位のカリキュラムにおいて習得させる。		
就職を目指す職業	住宅設計士・福祉住環境コーディネーター・住宅施工管理技術者		
当該学科に対する業界のニーズ	実社会で役に立つ最先端の教育と高い専門性		

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成30年度実施内容

提携企業名(業界名等)	株式会社 創建(住宅)、株式会社 マルコーホーム(住宅) 他22社		
提携企業の具体的なニーズ	・社会人としての基本的姿勢やマナー。 ・即戦力となる技能・技術の習得。		
コースの目標	実践的技術に必要とされる、実務能力を有する技術者の養成を目標に、基本的な専門知識と技術を実践本意のカリキュラムにおいて習得させる。 学生の就業する業界における動向や、新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能などを分析した上で、企業などの要請を十分に活かし、教育課程編成委員会を設け、教育に反映させる。		
企業等との提携内容や実習内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	【共同】・企業が求める人材要件の確認及び情報の共有。 ・インターンシップの目標及び評価項目の設定。 【学校】・学校内における事前学習・事前面談の実施。 ・クラス担任によるカウンセリング及び実習先企業の選定。 ・プログラム実施期間中の企業巡回訪問。 ・実習先企業への各種手続きや連絡調整等の実施。 【企業】・提携企業は学生を受け入れ、現場実習等を指導。 ・インターンシップ先企業による「実習担当者」、「指導責任者」の配置。 ・学生の成績評価を行う。		
提携契約期間	(2019年7月11日～2019年7月24日)		
現場実習期間	平成30年7月12日～平成30年7月25日 2(年・月・週間)×1回(72時間相当)		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	新年度初めに、研修内容・勤務場所・待遇面を説明。研修希望者と担任・進路指導担当者で面談を経て企業に申込み。その後は企業による選考(面接)により決定。		
履修認定	履修認定時間 / 総授業時間	賃金支払	雇用契約
(有)・無	72時間 / 2520時間	有・無	有・無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
(有)・無	インターンシップ活動賠償責任保険	(有)・無	充足・非充足
			有(無)

評価方法	学校 企業	提携企業の評価を踏まえ、学校の授業科目としての成績評価及び履修認定を実施。 提携企業による5段階評価の研修評価を実施。
学生への支援・配慮事項		学校: 学校内における事前学習・事前面談の実施とクラス担任によるカウンセリング。 企業: 企業側実習担当者による学生へのフォロー。

※予定又は見込みの場合は()書きで記載すること。

※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)	
【対策】	授業や個別相談をとおして進路指導を強化・充実させている。 ・職業観の育成やミスマッチを防ぐためのキャリア教育を「建築・インテリア概論」の授業で実施。建築系の各分野で活躍されている方を招き、現場の実情を踏まえた上で、業界の魅力や問題点、今後の展望等について講義。
【効果】	その効果は具体的に把握できていないが、職業観の育成や早期の就職内定に結び付く等の成果が上がっていることを考えると、一定の効果があると思われる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 29 年度(実績)	平成 30 年度(見込)
a. 学科修了者数	21 名	28 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	21 名	28 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	4 名	20 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	2 名	7 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	2 名	13 名
f. 「b」のうち、進学者数	16 名	8 名
イ. 主な就職先、業界等		
タクトホーム 株式会社(住宅)、株式会社 サンユー都市開発(建設)、株式会社 エルハウジング(住宅)		
※進学者は関係分野の学科に進学(本校の研究科 他)		

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 6 名(中退率 9.5%)
b. 平成29年4月 1日在学者 63 名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成30年3月31日在学者 49 名(平成30年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
学業不振、進路変更、病気
ウ. 中退防止のための取組
担任面談による指導、入学前の進路確認、保護者懇談会

7 学校関係者評価の実施・公表

・学校関係者評価結果の公表先 URL: <http://www.chuoko-osaka.ac.jp/>

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。